

NEWS RELEASE

住宅資産管理サービス「家いくら？」が講談社「現代ビジネス」とサイト連携
新連載企画「現代ビジネス 住まい方研究所」へコンテンツ提供開始

DGコミュニケーションズ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：枝澤秀雄、以下「DGC」）運営の「家いくら？」β版（ieikura.com）は、講談社が運営する30～40代のビジネスパーソンに向けたウェブサイト「現代ビジネス」（編集長：阪上大葉）の新連載企画「住まい方研究所」のマーケティングパートナーとして参画します。

「家いくら？」×「現代ビジネス 住まい方研究所」 第1弾PRコンテンツはこちら
<http://gendai.ismedia.jp/articles/-/52490>



人口減少と高齢化を背景に、国のあり方が大きく変わろうとしています。定年までの安定雇用で住宅ローンを返済し、静かな老後生活へ、という人生は、とくに過去のものとなりました。家を買うのか借りるのか、どこで、どんなふうに暮らすのが幸せなのか。これからは一人ひとりが新しい時代の「住まい方」を考える時代です。

LATEST ARTICLES

- ワンランク上のマイホームが欲しいなら「住宅ローン」を聞きなさい
総務省がすすめる方法
山下 和之
- いま日本で急増している「マンション管理入会費」という費用
入会費は本当に必要なのか？
清野 隆夫
- 地価が急上昇している「パブル」と浮気にはまだ早い理由
25年前の不動産ブーム、というけれど…
磯山 友幸
- 「マンション管理費削減」が全国で続発！7階住んだ理事も
困るくらい、住せざるにしている…
清野 隆夫
- テレビ・新聞が報じていない「地価暴落」
12層月の暴落はこうして生まれた
磯山 友幸
- 20年後の「勝ち組マンション」をどう買えばよいか
買値が下がらない物件とは？
清野 隆夫
- タワーマンション住居を愛する「階数偏愛」というシブな現象
購入者は「見聞っ張り」が多い？
清野 隆夫
- 閑もなく地方都市を襲う「老朽マンション」
建築費、なんと20万円超！
磯山 友幸
- 大金持ちを襲う「富裕と貧困」～10階内の大豪邸でも幸せにならない
買値が暴落することも…
清野 隆夫

現代ビジネス

【住まい方研究所 <http://gendai.ismedia.jp/list/theme/sumaikata>】について

人口減少と高齢化を背景に、国のあり方が大きく変わろうとしています。定年までの安定雇用で住宅ローンを返済し、静かな老後生活へ、という人生計画は、とくに過去のものとなりました。家を買うのか借りるのか、どこで、どんなふうに暮らすのが幸せなのか。これからは一人ひとりが新しい時代の「住まい方」を考える時代。『現代ビジネス 住まい方研究所』は、皆さんが「住まい方」を考え、選ぶための役に立つ情報を、さまざまな視点からお届けして参ります。

※予定記事内容

- ・ヴィンテージがいま熱い！選ばれしこの中古マンションを見よ
- ・いまこそ考えたい「固定資産税」とは何なのか
- ・「不動産テック」の時代～なぜ私たちはこれまでマンションの価格を調べられなかったのか

NEWS RELEASE■家いくら?β版 <https://ieikura.com/>

首都圏100万戸超のマンション超の推定価格を一般公開。会員（登録無料）向けに「住宅資産管理・住居費管理サービス」として所有する住戸のローン情報や、管理費など住宅に関連する費用を登録することで、住居に関連する毎月の費用や、いま売却した場合の売却益（個人の住宅資産）をグラフなどでわかりやすく提供。

■現代ビジネス <http://gendai.ismedia.jp/>

2010年1月に開設された30～40代ビジネスパーソン向けニュースサイト。政治、経済からソーシャルメディア、スポーツ、グローバル教育といったジャンルにおいて、速報性だけでなく深層を追求した情報が、インフルエンサーをはじめとした読者から支持されている。読者中心年齢38歳/月間PV:5,500万/月間UU:900万

■DG コミュニケーションズ <http://www.dg-c.co.jp/>

約50年にわたり日本国内不動産の広告、マーケティング・販売戦略、を全国6拠点で展開。取引先は、全国500社を超える不動産開発業社。拡大するインターネットによる物件収集需要も睨み、2007年デジタルガレージグループに参画し、近年では海外進出する日系デベロッパーの現地開発プロジェクトにおける調査・販売コンサルティング事業も行っている。